

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 モジュール株式会社

コード番号 3043 URL <http://www.modulat.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 松村 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理担当ゼネラルマネージャ (氏名) 藤井 隆徳

TEL 03-3454-2061

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	744	11.3	13	△78.9	80	28.6	70	13.7
24年3月期第2四半期	668	14.9	62	85.9	62	69.7	61	67.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5,134.67	—
24年3月期第2四半期	4,517.79	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,248	357	28.6
24年3月期	1,241	286	23.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 357百万円 24年3月期 286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,097.00	1,097.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,568	3.8	101	18.2	104	18.1	60	△17.6	4,390.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	13,700 株	24年3月期	13,700 株
25年3月期2Q	— 株	24年3月期	— 株
25年3月期2Q	13,700 株	24年3月期2Q	13,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」を御覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き底堅さもみられますが、世界景気の減速等を背景として、このところ弱めの動きとなっております。企業収益は持ち直してはいるものの頭打ち感がみられ、設備投資は、一部に弱い動きもみられるものの緩やかに持ち直しつつあり、企業の業況判断は製造業を中心に慎重さがみられます。雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの改善の動きがみられ、当面は弱めの動きが続くと見込まれており、復興需要が引き続き発現するなかで、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待されております。

このような環境の中、「本業である企業向けの継続的ITサービスへの集中」、「各種ITサービスの大型化や長期化」、「新しいITサービスの立ち上げ」、「全社的な業務効率化の推進」、「堅実な経営管理体制の更なる推進」などに取り組んでまいりました。

・ITサービス売上

当社の本業である「継続的ITサービス」の売上は、計画を若干上回って順調に推移しており、「一時的ITサービス」の売上も堅調に推移いたしました。

その結果、「ITサービス」全体の売上高は、569,011千円（前年同期比6.8%増）となりました。

・商品売上

商品売上は、企業のIT投資抑制の影響など厳しい事業環境が続いておりますが、当第2四半期において下期に見込んでいた大型案件が前倒しになったこと等により、175,686千円（前年同期比29.3%増）となりました。

費用面につきましては、前事業年度より取り組んでいる新たなサービス「ソフトウェア・サービス」「セキュリティ関連サービス」「スマートフォン系サービス」に人的投資等を含む必要な投資を行っているため、また、本社移転を行ったため増加傾向にあります。いずれも一時的な増加で計画の範囲内であり堅調に推移していると判断しております。

なお、役員に対する長期貸付金の回収が完了したため、計上していた貸倒引当金を貸倒引当金戻入額として営業外収益に計上しております。

以上により、当第2四半期累計期間の業績は、売上高744,698千円（前年同期比11.3%増）、営業利益13,229千円（前年同期比78.9%減）、経常利益80,974千円（前年同期比28.6%増）、四半期純利益70,345千円（前年同期比13.7%増）となりました。

なお、当社の事業はITアウトソース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(財政状態の分析)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,248,284千円となり、前事業年度末に比べ6,326千円の増加となりました。その主な要因は、売掛金の減少や役員に対する長期貸付金の回収による減少等があったものの貸倒引当金の減少や現金及び預金と商品が増加したこと等によるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ64,762千円減少し、890,662千円となりました。これは、前受金の増加があったものの、買掛金及び借入金が増加したこと等によるものです。

純資産は357,622千円となり、前事業年度末に比べ71,088千円増加しました。これは、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末と比較して5.5ポイント上昇し、28.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は120,222千円となり、前事業年度末と比較して、39,535千円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、33,035千円（前年同期は147,528千円の獲得）となりました。これは主に、前払費用の増加額82,405千円、仕入債務の減少額85,255千円、貸倒引当金の減少額69,071千円等があったものの、税引前四半期純利益76,660千円、減価償却費52,066千円、売上債権の減少額104,679千円、前受金の増加額123,016千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、64,831千円（前年同期は29,644千円の使用）となりました。これは主に保険積立金による支出53,003千円、敷金及び保証金の差入による支出18,667千円等があったものの、貸付金の回収による収入175,417千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、58,332千円(前年同期は19,488千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出56,916千円等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社は現在中期事業計画の達成に向けて、新しいITサービスに関する投資を行っている状況ですので、下半期の業績についても未確定な要素が多く、現時点での通期業績予想は、平成24年5月9日公表時の計画から変更していません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。また、変更があった場合には速やかに開示を行います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,687	120,222
売掛金	215,561	110,881
商品	27,090	79,997
仕掛品	473	236
リース投資資産	67,268	68,145
繰延税金資産	8,719	3,063
1年内回収予定の長期貸付金	15,112	15,303
1年内回収予定の役員に対する長期貸付金	11,326	—
その他	27,699	71,657
貸倒引当金	△1,571	△808
流動資産合計	452,366	468,699
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産（純額）	428,662	388,270
その他（純額）	5,786	16,000
有形固定資産合計	434,449	404,271
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	11,915	13,523
長期貸付金	347,218	339,554
役員に対する長期貸付金	156,618	—
その他	64,365	173,588
貸倒引当金	△302,308	△234,000
投資その他の資産合計	277,809	292,667
固定資産合計	789,592	779,585
資産合計	1,241,958	1,248,284
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,978	97,723
1年内返済予定の長期借入金	265,778	271,132
未払金	39,884	40,453
前受金	165,387	288,404
賞与引当金	11,925	922
その他	50,757	15,583
流動負債合計	716,711	714,219
固定負債		
長期借入金	238,713	176,443
固定負債合計	238,713	176,443
負債合計	955,424	890,662

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,219	254,219
資本剰余金	154,217	31,558
利益剰余金	△120,526	72,477
株主資本合計	287,911	358,256
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,377	△633
評価・換算差額等合計	△1,377	△633
純資産合計	286,533	357,622
負債純資産合計	1,241,958	1,248,284

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	668,895	744,698
売上原価	480,567	551,422
売上総利益	188,328	193,275
販売費及び一般管理費	125,562	180,046
営業利益	62,765	13,229
営業外収益		
受取利息	8,019	6,160
受取配当金	107	156
受取手数料	1,045	2,325
貸倒引当金戻入額	—	68,308
その他	1,249	484
営業外収益合計	10,422	77,435
営業外費用		
支払利息	7,417	6,422
支払手数料	965	52
為替差損	1,623	3,215
その他	194	—
営業外費用合計	10,200	9,690
経常利益	62,986	80,974
特別損失		
固定資産除却損	0	2,362
事務所移転費用	—	1,951
解決金等	6,227	—
特別損失合計	6,227	4,313
税引前四半期純利益	56,759	76,660
法人税、住民税及び事業税	2,491	416
法人税等調整額	△7,625	5,899
法人税等合計	△5,133	6,315
四半期純利益	61,893	70,345

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	56,759	76,660
減価償却費	49,574	52,066
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,853	△69,071
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,475	△11,002
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△2,584	△5,746
受取利息及び受取配当金	△8,127	△6,317
支払利息	7,417	6,422
為替差損益 (△は益)	1,623	3,215
固定資産除売却損益 (△は益)	0	2,362
売上債権の増減額 (△は増加)	15,908	104,679
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,568	△52,670
前払費用の増減額 (△は増加)	△33,393	△82,405
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,797	△85,255
未払金の増減額 (△は減少)	△256	5,005
前受金の増減額 (△は減少)	84,714	123,016
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,083	△14,478
その他	6,155	5,477
小計	147,317	51,958
利息及び配当金の受取額	8,127	6,317
利息の支払額	△7,617	△6,541
法人税等の支払額	△298	△18,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,528	33,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,982	△15,425
無形固定資産の取得による支出	△6,314	△14,014
資産除去債務の履行による支出	—	△8,660
投資有価証券の取得による支出	△820	△864
貸付金の回収による収入	16,081	175,417
敷金及び保証金の差入による支出	—	△18,667
敷金及び保証金の回収による収入	—	50
保険積立金の積立による支出	△2,608	△53,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,644	64,831
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△18,072	△56,916
リース債務の返済による支出	△1,416	△1,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,488	△58,332
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	98,396	39,535
現金及び現金同等物の期首残高	49,839	80,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	148,235	120,222

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。